

4月度、加茂支部運営委員会を開催！「NEW 班会を学ぼう」を受け第22回加茂支部総会に向けて、居場所としての班づくりを決定！



3月25日に開催した「NEW 班会を学ぼう」に参加した加茂支部の豊田幸枝運営委員が、倉敷医療生協副理事長の早川高子さんの講演で、班とは、組合員の協同によるつながりの場、健康づくりの場、学びの場、支え合いの場であり、社会参加であることを学び、早速、地域のグラウンドゴルフの仲間と班をつくりました。そして、4月10日の運営委員会（写真上）で支部総会議案を協議する中で、2024年度班づくり目標を1班から5班以上つくろうということになりました。加茂支部の課題は役員や担い手の高齢化で、支部だよりの配布も出来なくなってきています。手配り地域ごとに班をつくることや、料理上手な方と美味しいものをつくる班も計画されています。ここ数年衰退の一途をたどっていましたが、2022年度の生協6課題（仲間冷やし、出資金増やし、班づくり、担い手増やし、大腸がん検診増やし、健康チャレンジ）目標のパーフェクト達成を機に、2023年度もパーフェクト達成することが出来ました。2024年度は班づくりで、生き生きとした支部にしていけます。



加茂支部彼岸花班は、20数年続けている老舗の班です。毎年、年間計画をつくり、健康チェックをし、年1回の健診も入れています。班会では、必ず月ぎめ増資を行っています。結成当時は班員も20数名いましたが、途中で班を分けたり、班長の施設入所や班員が病気で亡くなったりして、今は7名で活動しています。今回のお花見は6名が参加し、1名は昼食のみの参加になりました。（写真左：広瀬でお花見）